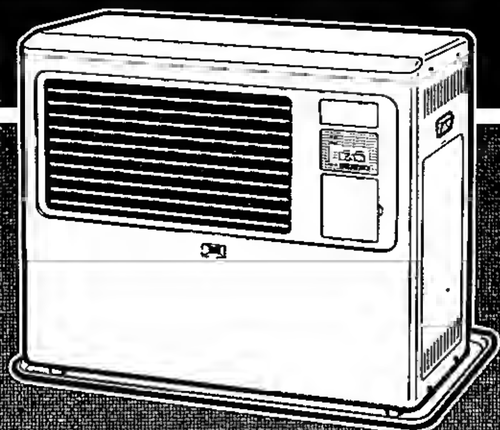
CORONA

コロナ密閉式石油ストーブ

取扱説明書

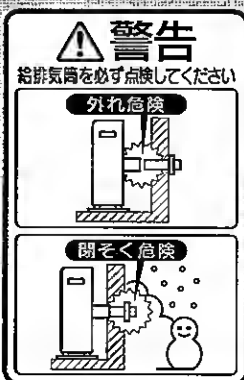
正しく使って上手に節約

FF-1600SBT



この[illegible]
買いあげいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」と共に大切に保管してください。





もくじ



株式会社コロナ

1.特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。


⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠ 警告

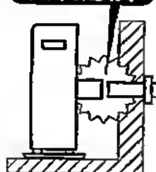
●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



●外れ危険

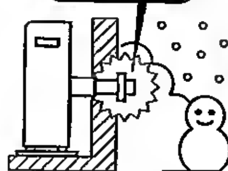
給排気筒（管、ホース）が正しく接続されているか点検してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。





●給排気筒トップ閉そく危険

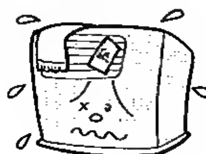
積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。
運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。





●温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
衣類、紙などでふさぐと、火災の原因になります。





●スプレー缶厳禁
殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。





●可燃性ガス使用厳禁
ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



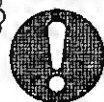
⚠ 注意

●カーテン、可燃物近接禁止
カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。
火災が発生するおそれがあります。




●給油時消火
給油は、必ず消火してから行い、こぼれた灯油はよくふき取ってください。
火災のおそれがあります。





●異常時使用禁止
万一異常を感じたときは、使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。
すみやかに運転スイッチを「停止」にしてください。





●温風に直接あたらない
温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



●高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。



●分解修理の禁止
故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理は、危険です。



●指や棒を入れない
給排気筒トップに指や棒などを入れないでください。
けがや火災の原因になります。



●改造使用の禁止
改造して使用しないでください。また、ストーブ本体や給排気筒には床暖房用の熱交換器などを取り付けないでください。
火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。



●フィルタをはずしての運転禁止
対流用送風機のフィルタをはずした状態で運転しますと、カーテンなどを巻きこんで火災になるおそれがあります。
また手などふれるとけがをするおそれがあります。



⚠ 注意

●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。





●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。



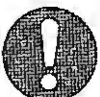
●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



●電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりおよび金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



●電源の接続

- 電源は適正配線された単相100Vのコンセント以外は使用しないでください。発熱・発火の原因になります。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。発熱・発火の原因になります。



●変質灯油禁止

変質灯油、汚れた油、水の混じっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。



●灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。



●据付け上の注意

- お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事や移設工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
- ストーブおよび給排気筒の据付けについては、火災予防条例、石油燃焼機器の設置基準による規制がありますので、これに従って据付けてください。
- ストーブの固定は、本体固定金具などで、確実に固定してください。



●廃棄するときの注意

ストーブを廃棄処分するときは、オイルフィルタの灯油を抜き取ってください。
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

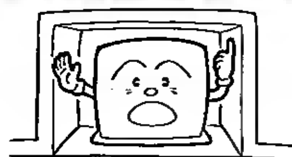


2.使用する場所

ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

安全に使用するために

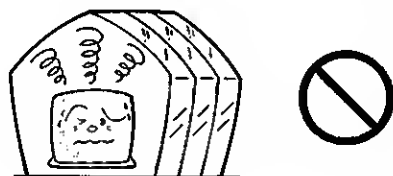
●マントルピースなどに据付ける場合は、標準据付け例にしたがってください。(29ページ参照)



●標高が1500m以上の場所では使用しないでください。高地で使用される場合は調整が必要です。
(空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。詳しくは、工事説明書 **高地で使用の場合** をご覧ください。)

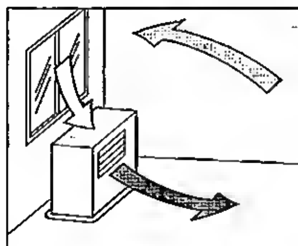


●温室、飼育室、乾燥室などでは絶対使用しないでください。
●温室、飼育室など、動植物の育成栽培に使用しないでください。



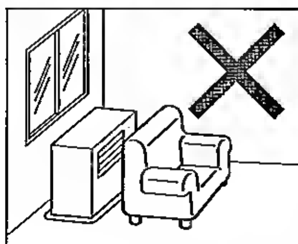
効果的に使用するために

窓の下や壁面に設置



●外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がストーブで暖められ、温風として対流しますので効果的です。

温風の循環を妨げない



●温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。

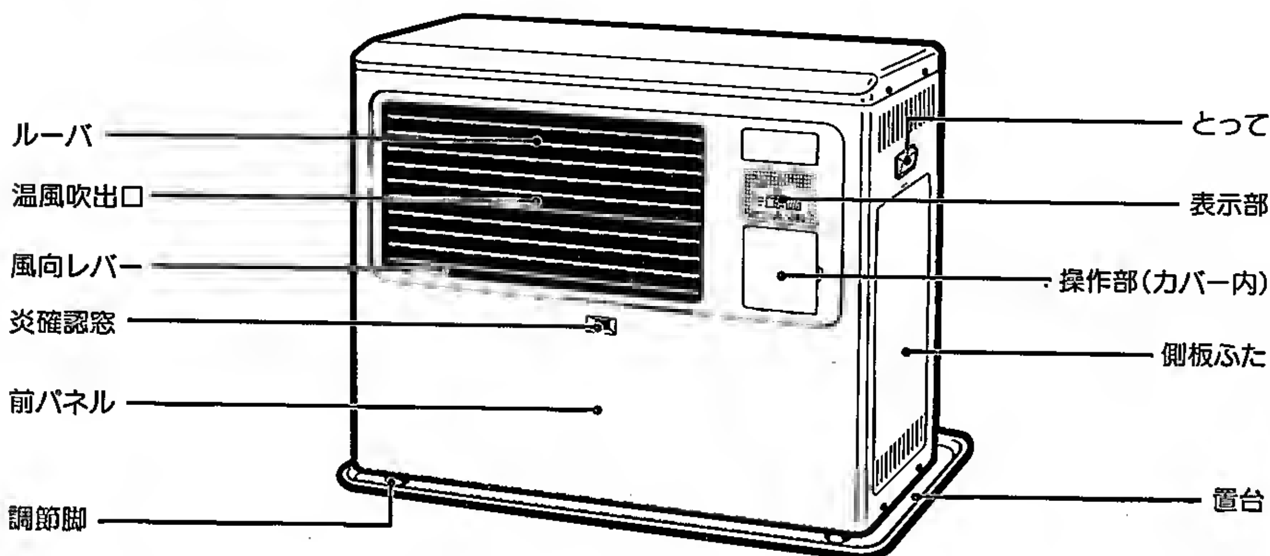
- 障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。

●温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。

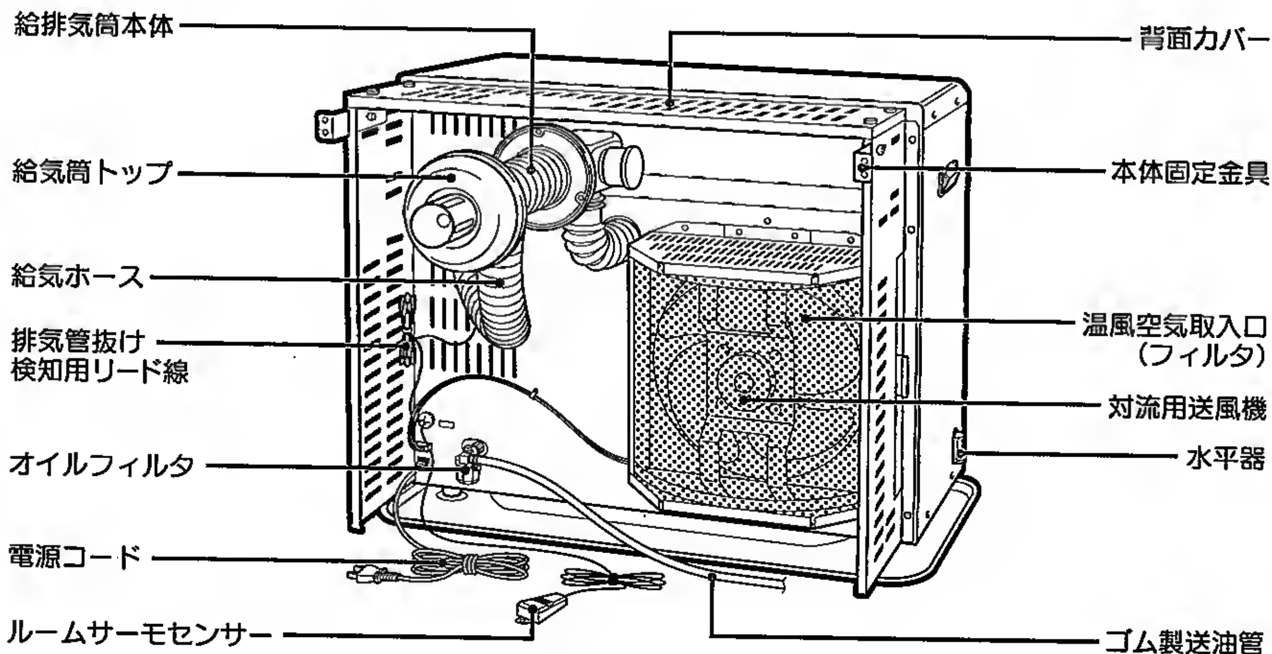
3.各部の名称

外観図

正　面



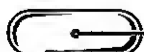
背　面



構造図

過熱防止装置（安全サーモスタット）
遅延サーモスタット
熱交換器
外筒
のぞき窓
遮熱板
バーナ
プリント配線板
防爆装置
燃焼用送風機
燃焼制御装置（CdS）
電磁ポンプ
対震自動消火装置

操作部

運転・停止

運転スイッチ

切換スイッチ


切換スイッチ

温度・時計調節


温度・時計調節キー

温度/時計

温度／時計切換キー

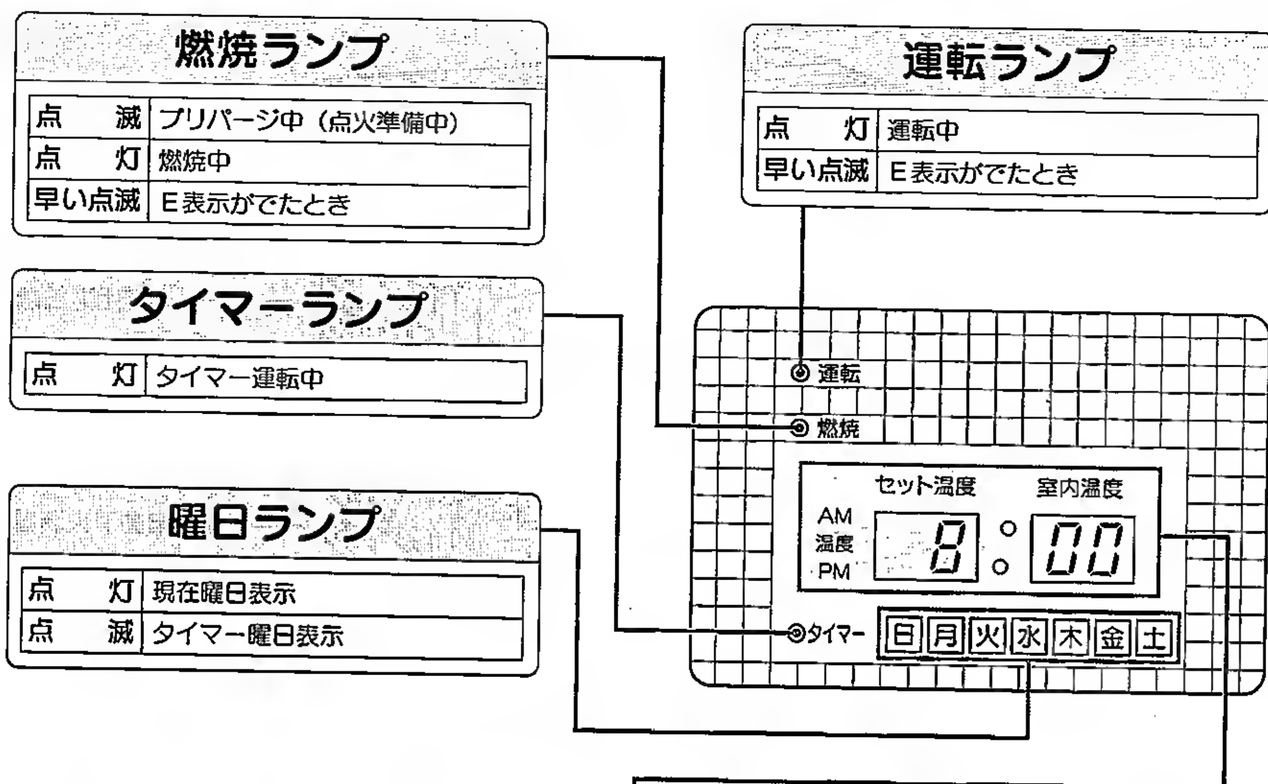
タイマー運転

タイマー運転キー

曜日設定

曜日設定キー

表示部



デジタル表示部

表示	内容
セット温度 室内温度 AM 温度 PM 20 : 12	●温度点灯（温度表示） 左側：セット温度表示(12℃～30℃) 右側：室内温度表示(0℃～40℃)
セット温度 室内温度 AM 温度 PM 8 : 30	●AMまたは、PM点灯（時刻表示） 左側：時　　右側：分　（例）午前8時30分 ●切換スイッチを「タイマー合せ」にすると、タイマーセット時刻を表示します。
セット温度 室内温度 AM 温度 PM E- : EE	●E－EE点灯 停電後再通電（ストーブ運転中の場合）
セット温度 室内温度 AM 温度 PM -- : --	●－－：－－点灯 時刻の未セット 停電後再通電（ストーブ停止中の場合）
セット温度 室内温度 AM 温度 PM E- : 09	●（例）E－０９表示　対震自動消火装置の作動 再度、点火操作をしてください。 ●その他のE表示は17ページを参照してください。

4.使用前の準備

燃　料

燃料は、灯油（JIS1号灯油）を必ず使用してください。

● ⚠ 警告　ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



● ⚠ 注意　変質灯油、汚れた油、水の混じっている灯油を使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。



● ⚠ 注意　灯油は火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。



灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。
（火の気のない所で行ってください。）





変質灯油・不純灯油とは………

昨シーズンより持ち越しの灯油







長期間日光にあたる所や温度の高い所に保管した灯油







容器のふたが開けてあったり、乳白色のポリ容器で保管した灯油







水・ごみや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油





●極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。
●必ず灯油用のポリタンクをお使いください。
●灯油はシーズン中に使いきりましょう。

■変質灯油や不純灯油を使用すると…
- 油の程度にもよりますが、燃焼不良をおこしたり、ストーブの損傷を早め、故障の原因になります。
- 水やごみが送油経路に流れ込み、燃焼不良や着火不良の原因になります。

■万一変質灯油や不純灯油を使用したときは、
- お買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口（裏表紙参照）にご連絡ください。

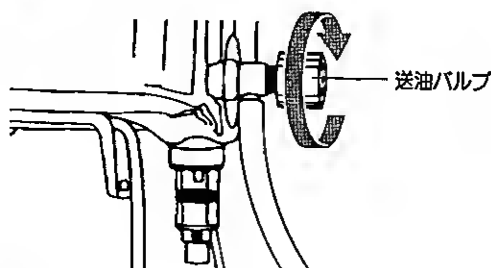
- 変質灯油・不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
- 変質灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買い求めの販売店にご相談ください。

給　油

⚠注意 給油は必ず消火してから行い、こぼれた灯油はよくふき取ってください。火災のおそれがあります。

給油の手順と注意

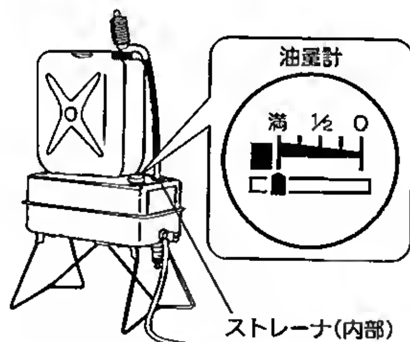
1 送油バルブを閉じる



2 給油口ふたをはずし給油する

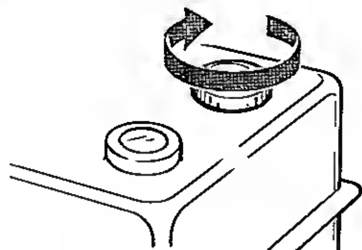
●市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。
●油量計の針が「満」をさしたら給油をやめてください。

- 給油後は給油口にあるストレーナ(ろ網)を取り出して、水やごみがたまっていたら掃除をしてください。



3 給油口ふたを締める

●給油口ふたは、確実に締めてください。



- 給油の際に、水・ごみなどを入れないように注意してください。
  水・ごみなどは燃焼不良やストーブの寿命低下などの原因になります。

灯油がなくなると

●ご使用中に油タンク内の灯油がなくなると、E-02 または、E-04 が表示され消火します。

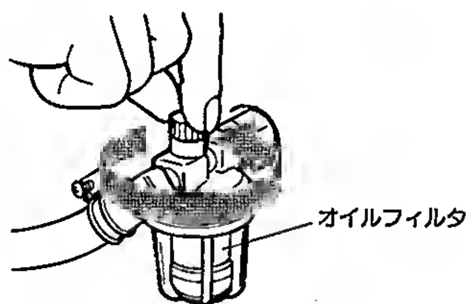
- 油タンクを空にしないように注意してください。
- 灯油がなくなり、E 表示が出た場合は、給油後、送油経路の空気抜きが必要となります。

送油経路の空気抜き

●初めて使用するときや油切れで E 表示が出た場合は、油タンクに給油した後に、送油バルブを開き、空気抜きを行ってください。

1 空気抜き用ねじをゆるめる

●灯油が床にこぼれないようオイルフィルタの下に布や、容器などを用意してください。



2 ゴム製送油管をよく振り空気抜きをする

●ゴム製送油管をよく振り、送油経路内の空気抜きを十分に行ってください。

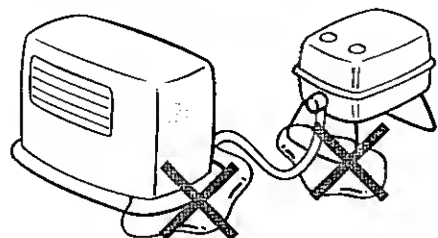


3 空気抜き用ねじを締める

●空気が抜けオイルフィルタの中に灯油が満たされたら空気抜き用ねじを締めてください。

点火前の準備と確認

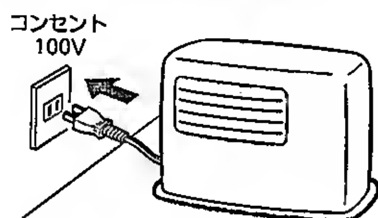
油漏れの確認



●油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないかどうか確認してください。

・油漏れのあるときは、使用を中止し、送油バルブを閉じてからお買い求めの販売店にご相談ください。

電源の接続

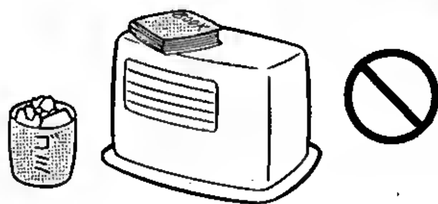


⚠注意

電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…

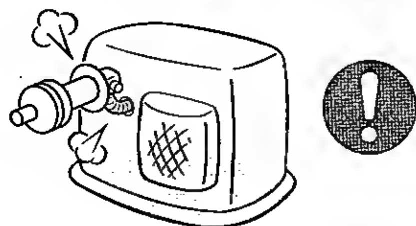
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 電源は、必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。

ストーブ周囲の確認



● ⚠注意 ストーブの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

給排気筒接続部の確認



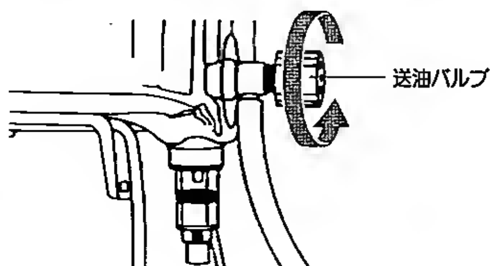
● ⚠警告 給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか確認してください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

5.使用方法

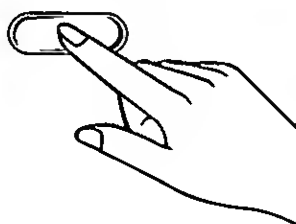
点　火

1 送油バルブを開く

●油タンクの送油バルブを開いてください。



2 運転スイッチを押し込む



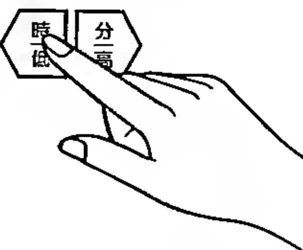
●運転ランプが点灯し、燃焼ランプが点滅します。このとき同時に時刻表示から温度表示に切り変わります。
●約10秒後に点火し、燃焼ランプが点滅から点灯に変わります。
●点火してストーブ内が暖まり、2～4分後に対流用送風機がまわり始めます。

- 点火時、放電音と同時に着火音を発しますが異常ではありません。

- 初使用時やオイルフィルタの空気抜きを行った直後の点火では、一度で着火しないことがあります。このストーブはミス着火時に再度自動点火操作を行いますが、それでも着火しないで E-02 表示されることがあります。このようなときは、運転スイッチを押しもどし、再度点火操作をしてください。
- 初使用時はストーブの防錆油や塗料などが焼けるため、煙やにおいが出ることがあります。窓をあけて部屋の換気をしてください。
- 点火後約10分間は、熱膨張のため、熱交換器などが小さな音を出すことがありますが、異常ではありません。
- 外気温が低くなると、給排気筒の先端から連続的に白煙が出ることがあります。これは排気ガス中に含まれている水蒸気が白く見えるためで、異常燃焼による白煙ではありません。

室温の調節

温度・時計調節キーを押す



●温度・時計調節キーの〈時低|分高〉を押して希望の温度に合わせてください。
●キーを押し続けると、表示は連続して変わります。

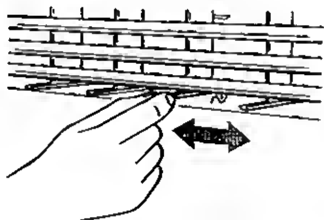
- ルームサーモセンサーにより、セット温度に応じて自動的に火力切り換えおよび、消火を行います。
- 未セットの場合、セット温度は自動的に20℃にセットされています。
- セット温度は、12℃から30℃までの範囲でセットできます。

- 停電があった場合でも、1分以内の停電であれば再セットする必要はありません。
- 温度表示は、ルームサーモセンサー周辺の温度を感知して表示するので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
- ルームサーモセンサーは、ストーブの上部や熱の受けやすい場所、直射日光や冷気のあたる場所を避け適切な位置に取り付けてください。

風向調節

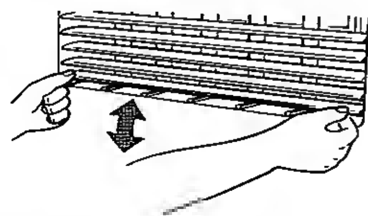
風向は上下・左右に変えることができます。

左右に動かす



●温風吹出方向を左右に変えたいときは、風向レバーを左右に動かしてお好みの方向に合わせてください。

上下に動かす

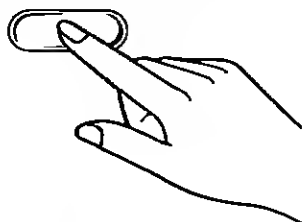


●温風吹出方向を上下に変えたいときは、ルーバの左右を持ち、上下に動かしてお好みの方向に合わせてください。

- 風向調節はストーブが停止して、冷えているときに行ってください。

消　火

運転スイッチを押しもどす



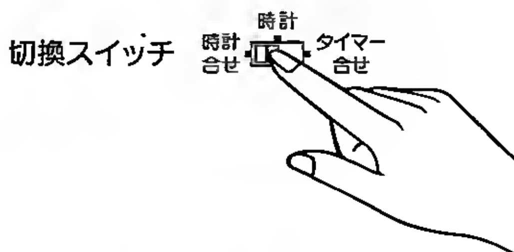
●運転ランプ、燃焼ランプが消灯し、消火します。同時に温度表示から時刻表示に切り変わります。
●消火後は本体内部が冷却するまで送風を継続し、5〜7分後に対流用送風機が停止します。

- ⚠注意　長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 外出するときは、必ず消火してください。
- 消火操作後、温風が出ている間は、絶対に電源プラグを抜かないでください。

タイマーの使用方法

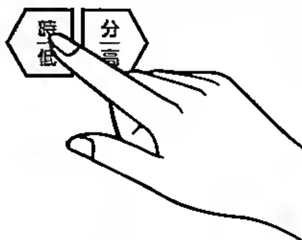
現在時刻・現在曜日の合わせかた

1 「時計合せ」の位置にする



●切換スイッチを「時計合せ」の位置にしてください。

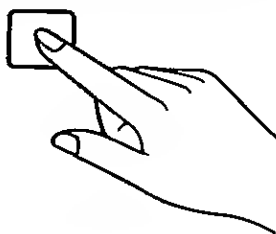
2 時刻を合わせる



●〈時低|分高〉キーを押して、デジタル表示部の時刻を合わせてください。
●キーを押しつづけると、表示は連続して変わります。

- 時刻を合わせるときは、AM、PMをまちがえないよう注意してください。

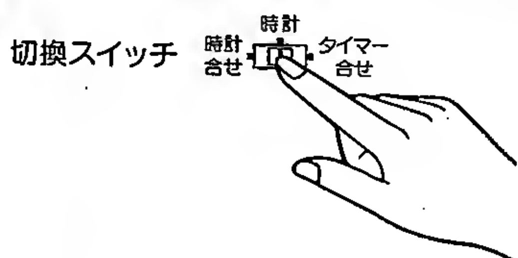
3 曜日設定キーを押す



●曜日設定キーを押して、現在曜日に合わせてください。

●キーを押し続けると、表示は連続して変わります。

4 「時計」の位置にする



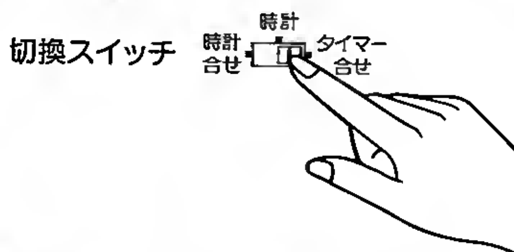
●切換スイッチを「時計」の位置にもどしてください。

●これでセット完了です。

- 現在時刻セット後は、切換スイッチを必ず「時計」の位置に合わせてください。「時計合せ」の位置では時計は止まったままになります。
- 未セットの場合、現在時刻は - - : - - を表示します。

■タイマー時刻の合わせかた

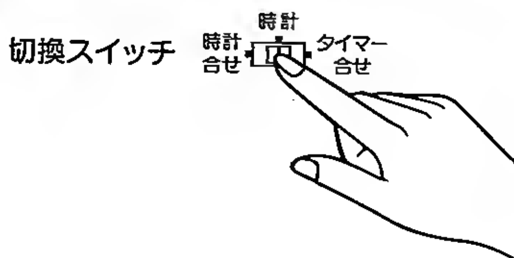
1 「タイマー合せ」の位置にする



●切換スイッチを「タイマー合せ」の位置にしてください。

●現在時刻の合わせかたと同様にして希望のタイマー時刻に合わせてください。

2 「時計」の位置にする

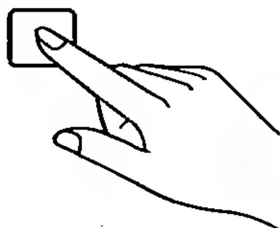


●切換スイッチを「時計」の位置にもどしてください。

- タイマー時刻は、1度セットすれば記憶されます。
- タイマー時刻セット後は、切換スイッチを必ず「時計」の位置に合わせてください。
- 未セットの場合、タイマー時刻は自動的にAM6:00にセットされています。

おはようタイマー運転のしかた

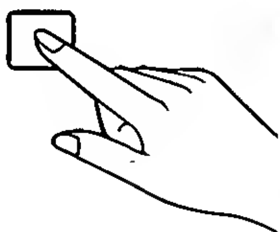
タイマー運転キーを押す



- 運転中、または運転スイッチを押し込んだ後、タイマー運転キーを押してください。
- タイマーランプが点灯し、点火する曜日のランプが点滅します。
- デジタル表示部はタイマー時刻を約30秒表示した後、時刻表示にもどります。
- 合わせた時刻になると、自動的に運転を開始します。

時間設定が24時間を越えるときは、つづけて……

曜日設定キーを押す



- タイマー運転キーを押してから30秒以内に曜日設定キーを押し、点火する曜日のランプを点滅させてください。
- 合わせた曜日・時刻になると、自動的に運転を開始します。

- 点火する曜日設定は記憶されません。

- 点火する曜日のランプは運転を開始するまで点滅を続けます。
- タイマーセット後、点火する曜日を変更するときは、タイマー運転キーを押してタイマーランプを消灯させ、再度タイマー運転キーを押してから再設定してください。
- タイマーセット時刻を確認するときは、切換スイッチを「タイマー合せ」の位置にしてください。（確認後は「時計」の位置にもどしてください。）
- タイマーセット後、セット時刻前に点火したいときは、再度タイマー運転キーを押してください。
- 未セットの場合、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電後再通電したときは、デジタル表示部が - - : - - または、E - EE を表示し、タイマー運転はしません。
  再度、現在時刻合わせ・タイマー時刻合わせを行ってください。
- 外出時など、留守中に燃焼を開始するようなタイマーセットは、絶対にしないでください。

6.安全装置

このストーブには次のような安全装置がついています。
すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安全装置	原因	処置方法
対震自動消火装置 （E-09表示）	●地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた場合、自動的に消火します。	●地震によって作動した場合、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、給排気筒のはずれなど異常がないことを確認してから再点火してください。
点火安全装置・燃焼制御装置 （E-02・E-04表示）	●油切れしたとき ●点火ミスをしたとき ●途中失火したとき ●異常燃焼したとき に自動的に消火します。	●日常の点検・手入れ（18～23ページ参照）をしてから点火操作をしてください。 ●処置をしても繰り返しエラー表示が出るときは、一旦運転スイッチを「停止」にしてからお買い求めの販売店に連絡してください。
停電安全装置 （E-EE表示）	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	●通電後、点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。
過熱防止装置 安全サーモスタット （表示部全消灯）	●温風空気取入口や温風吹出口にほこりがつまっているとき ●ストーブ前面に障害物があるとき に自動的に消火します。	●温風空気取入口や温風吹出口の掃除をしてから再点火してください。（20・22ページ参照） ●処置をしても繰り返しエラー表示が出るときは、一旦運転スイッチを「停止」にしてからお買い求めの販売店に連絡してください。

7.その他の装置

装置の名称	原因	処置方法
排気管抜け検知装置 （E-00表示）	●排気管の接続部がはずれたとき ●排気管抜け検知用リード線がはずれたり、断線したとき に自動的に消火します。	●排気管抜け検知用リード線のゆるみまたは、はずれ・切れがないか確認してください。 排気口キャップ / ねじ / 給排気筒 / 排気管抜け検知用リード線
過電流防止装置（8アンペア） （表示部全消灯）	●内部配線のショートにより過電流が流れたとき	●ショートの原因を取り除き、電流ヒューズを交換してから点火操作をしてください。

8.日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ストーブが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- ⚠注意 電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
  燃焼部の分解は絶対にしないでください。

ストーブとストーブ周囲の点検 (使用ごと)

周囲の可燃物

● ⚠注意 ストーブの周囲は常に整理・清掃し、燃えやすいものを置かないでください。

ほこり・汚れ

●ほこりや汚れをそのままにしておくと、油がしみたりして危険です。
ストーブは、いつも清潔にしてご使用ください。

油漏れ・油のたまり 油のにじみ

●油が漏れていたり、油のたまり、にじみがないか点検してください。

- 油漏れのあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす

●ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。
屋外での使用は禁止されています。

●屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認し、欠点のあるときは交換してください。
交換のめやすは、3年に一度です。

給排気筒接続部のゆるみおよびトップ周囲の点検 (使用ごと)

給排気筒のはずれ

● ⚠警告 給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているかときどき点検してください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

給排気筒、トップ周囲の障害物

● ⚠警告 積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。
運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

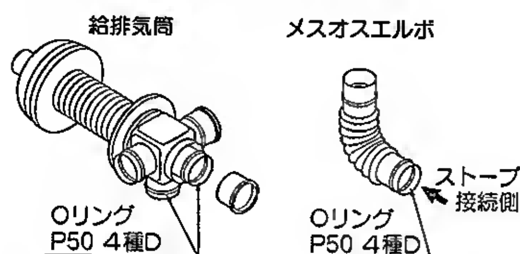
●給排気筒およびトップの周囲に障害物が置かれていないか、ときどき点検してください。
障害物が置いてある場合は、移動してください。

給排気筒のつまり

●シーズン初めには必ず点検し、くもが巣をつくったり、異物が入ったりしているときは必ず掃除してください。

・給排気筒がつまると不完全燃焼をおこします。

Oリングの破損



●給排気筒を一度取りはずして、再び取り付けるときは、排気管の接続部内部にはめ込んであるOリングが破損していないか確かめてください。

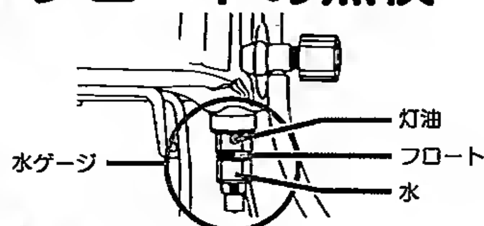
・破損していた場合は、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。

油タンクの水抜き

（1シーズン1～2回）

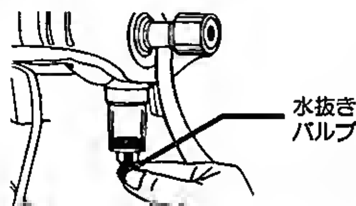
油タンク内に水がたまると、水ゲージの灯油と水の境界面に赤色のフロートが浮き上がります。（別売TC-40K形油タンクの場合）

1 フロートの点検



●フロートが浮き上がっていたら水抜きを行ってください。

2 水を抜く



●水抜きバルブの下に容器を受けて、水抜きバルブを少しゆるめると油タンク内の水が出て、フロートが沈みます。水を抜いたら水抜きバルブを固く締めてください。

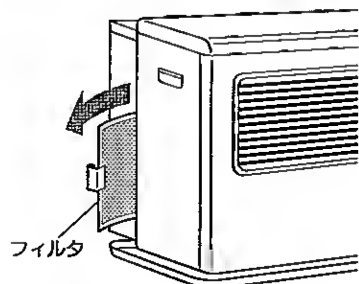
●水抜き後は、油漏れがないか必ず確認してください。

● 油タンク内には、水やごみがたまりやすく、多くたまるとストーブの方へ流れ出し、灯油の流れを妨げて十分な火力が出なくなります。ときどき水ゲージの点検を行ってください。

フィルタの掃除

（週1回以上）

対流用送風機のフィルタがごみやほこりで目づまりすると、送風力が弱くなり排気温度上昇やストーブの表面温度が上昇する原因になります。〔過熱防止装置(安全サーモスタット)の働きで運転が停止する場合があります。〕
次の要領でストーブ裏面のフィルタの掃除をおこなってください。



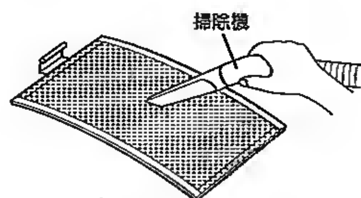
●左図の矢印のようにフィルタを横から引き出し、ストーブ裏面から取りはずしてください。



●フィルタに付着したほこりを掃除機で吸い取ってください。



●掃除が終わりましたら、もとどおりに取り付けてください。



⚠注意 フィルタをはずしたまま運転しないでください。

フィルタをはずした状態で運転しますと、カーテンなどを巻きこんで火災になるおそれがあります。また手などをふれるとけがをするおそれがあります。

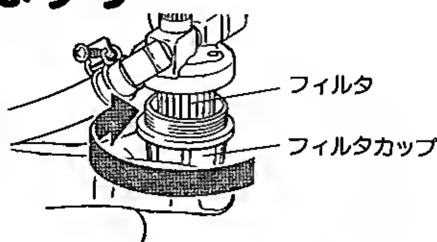
オイルフィルタの掃除

（1シーズン1～2回）

1 送油バルブを閉じる

2 フィルタカップをはずす

●フィルタカップをはずし、水やごみを捨ててください。



3 フィルタをはずしきれいな灯油で洗う

●フィルタをはずし、きれいな灯油で洗ってください。

- 絶対に水で洗わないでください。



4 フィルタとフィルタカップをセットする

●フィルタをもとどおりに組み込み、フィルタカップは油漏れのないよう確実に締め付けてください。

のぞき窓の透明度が悪くなったとき

お買い求めの販売店に依頼してください。

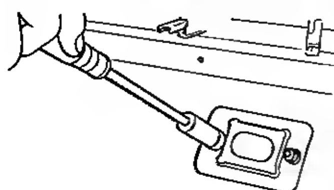
のぞき窓の透明度が悪くなったときは、次のように掃除してください。

1 前パネル、遮熱板をはずす

2 のぞき窓をとめているナット2個をはずす

●少し水を含ませた布でのぞき窓をふいてください。

- ねじ部は常温になってからはずしてください。
- もとどおり、均一にねじを締め、固定してください。
- のぞき窓をはずしたときは、パッキンを新品と交換してください。



燃焼制御装置の掃除

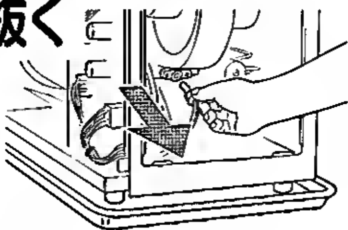
（1シーズン1～2回）

燃焼制御装置（CdS）が汚れると、炎の監視ができなくなります。
次のように掃除してください。

1 側板ふたをはずす

●右側面の側板ふたをとめているねじ2本をはずし、側板ふたを取りはずしてください。

2 燃焼制御装置(CdS)を抜く



●燃焼用送風機下部についている燃焼制御装置(CdS)を抜き出します。

3 やわらかい布でふく



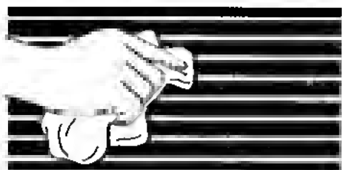
●感光部の汚れをやわらかい布できれいにふき取ってください。

● もとどおりセットするときは、溝に合わせて取り付けてください。

温風吹出口の掃除

（週1回）

やわらかい布でふき取る



●本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。

● しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。

● ルーバを曲げたり、変形させたりしないよう注意してください。

熱交換器の点検

（1シーズン1～2回）
お買い求めの販売店に依頼してください。

熱交換器の内部にすすが異常にたまると、不完全燃焼の原因となります。

● 異常燃焼がおこった場合には、バーナの点検とあわせて熱交換器の点検を、お買い求めの販売店に依頼してください。

地震などの災害が発生したときの点検について

地震などの災害が発生し、製品に振動や衝撃が加わったときは、運転前に必ず次の点検を行ってください。

- **給排気筒周りのはずれ、漏れの確認**
- **灯油配管からの漏れ確認**

点検で異常が見つかった場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

9.定期点検

定期点検に関する注意

長期間ご使用になりますと、ストーブの点検が必要です。

●2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買いあげ店または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

10.故障・異常の見分け方と処置方法

次のような現象は故障ではありません。

●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現象	説明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙やにおいがでる。	耐熱塗料やほこりなどが焼けるためです。 しばらく窓をあけて換気をしてください。
点火時・消火時	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に1回で着火しない。 点火してもすぐ消火してしまう。	送油経路の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。2～3回点火操作をくりかえしてください。 送油経路内の空気抜きをしてください。（10ページ参照）
点火時・消火時	燃焼開始時や消火後に「ピチピチ」という音がする。	本体内部が熱により膨張、収縮するためです。 異常ではありません。
点火時・消火時	点火してもすぐ温風が出ない。	不快な冷風を出さないためで本体内部が暖まると温風が自動的に吹き出てきます。
点火時・消火時	消火しても温風が出ている。	本体内部が冷却するまで送風を継続します。
燃焼時	炎が赤い	異常ではありません。
その他	給排気筒の先端から連続的に白煙が出る。	外気温が低くなると、排気ガス中に含まれている水蒸気が白く見えるためで、異常燃焼による白煙ではありません。

●次の表にもとづいて、もう一度お確かめください。
●処置方法により処置しても良くならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現象／原因	運転ランプが点灯しない	点火しない	使用中消火する	黒煙を出して燃える	炎が大きくならない	音をたてて燃える	油漏れがする	油のにおいがする	処置方法
電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●	●							コンセントに確実に差し込む
電流ヒューズが切れている	●	●	●						交換する
設定温度が低い		●							設定を高くする
油タンクに灯油がない		●	●						給油する
送油経路に水または、ごみがたまっている		●	●		●				送油経路の水抜き オイルフィルタの掃除をする
送油経路に空気だまりがある		●	●		●				送油経路の空気抜きをする
排気管の配管が長い、曲がり箇所が多い				●		●			延長3m、曲がり3箇所以下にする
排気管のつまり				●		●			掃除する
送油経路の接続部のゆるみ		●	●		●		●	●	締め付ける
不良灯油を使用している		●	●	●					良質の灯油と入れ替える
燃焼制御装置（CdS）が汚れている		●	●						感光部をきれいに掃除する
過熱防止装置の作動（安全サーモスタット）	●	●	●						原因を取り除いた後、再点火する
排気管抜け検知装置の作動		●	●						排気管の接続部および排気管抜け検知用リード線の接続部のはずれがないか点検し、はずれていたら正しく接続する
対震自動消火装置の作動			●						「地震などの災害が発生したときの点検について」の点検項目を確認し、再点火する
給気ホースがはずれている						●			確実に接続する
給排気筒の先端がふさがれている						●			ふさいでいるものを取り除く

11.部品交換のしかた

⚠注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買い求めの販売店または、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は**コロナ純正部品**とご指定ください。

部品ご入用の際には、コロナ製品取扱販売店で必ず**コロナ純正部品**とご指定ください。
純正部品以外の部品をご使用になりますと、性能が十分に発揮されないばかりか、ストーブを損傷したり思わぬ事故の原因になります。

12.保管(長期間使用しない場合)

おしまいになるときは、日常の点検･手入れの項を参照し、次の要領で保管してください。

1.電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ⚠注意 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

2.フィルタの掃除をしてください。(20ページ参照)

3.油タンクの送油バルブを閉じてください。

4.オイルフィルタの灯油をすべて抜き取ってください。

5.本体のごみやほこりを取ってください。

●掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

6.本体をしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。(22ページ参照)

7.ストーブにほこりがたまらないよう、適当なカバーをかけてください。

●ストーブを取りはずしたときはポリ袋をかぶせ、乾燥した場所に、横倒しにしないように保管してください。

●取扱説明書も大切に保管してください。

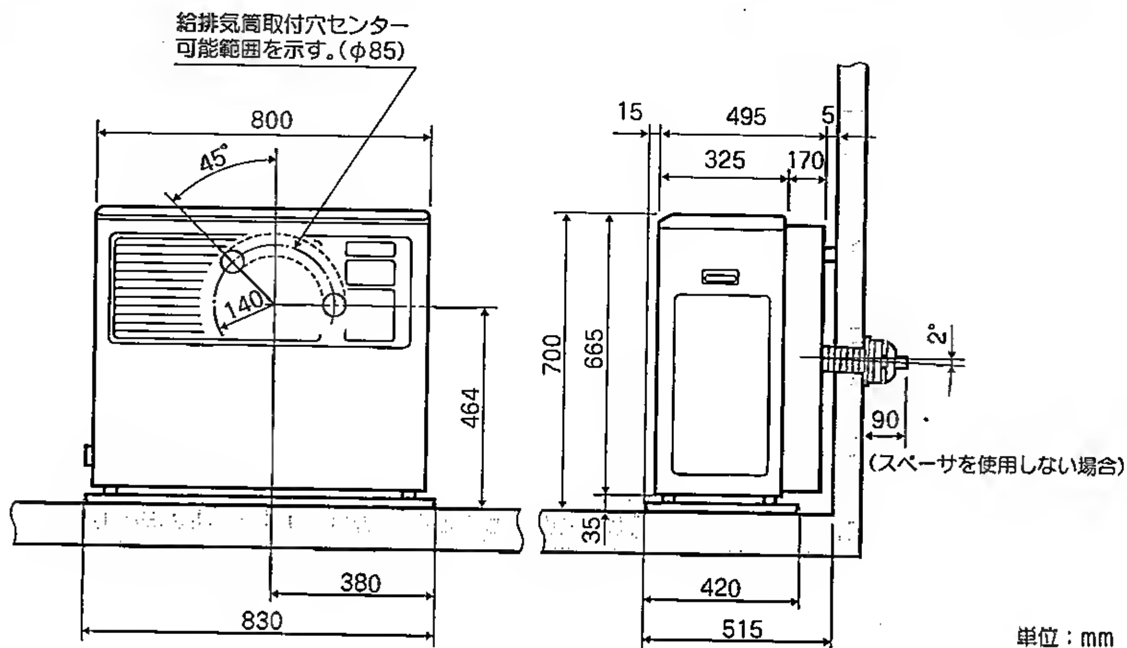
13.仕 様

仕様

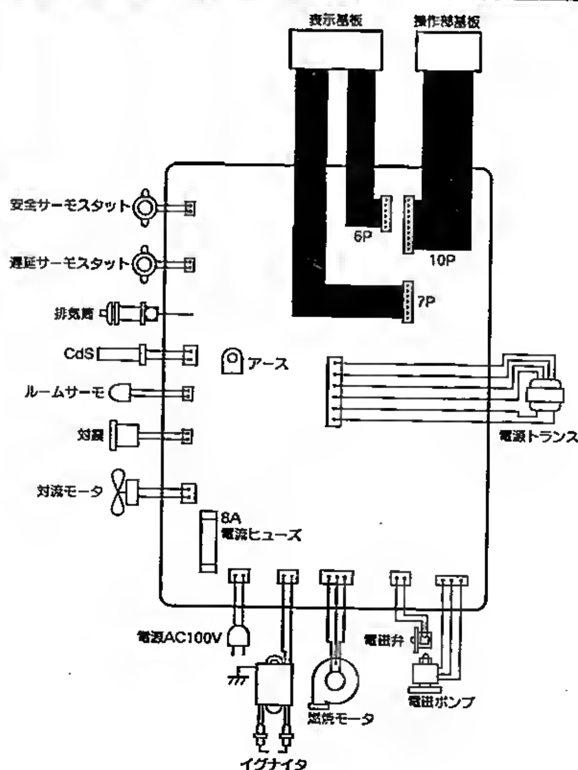
型式の呼び		FF-1600SBT
種類		圧力噴霧式・強制給排気形・強制対流形
点火方式		高圧放電点火
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）
燃料消費量	最大	1.8L/h
	最小	1.3L/h
発熱量(入力)	最大	62,090kJ/h（14,830kcal/h）
	最小	44,840kJ/h（10,710kcal/h）
熱効率	最大	92.4%
	最小	92%
暖房出力	最大	15.9kW, 57,370kJ/h（13,700kcal/h）
	最小	11.5kW, 41,250kJ/h（9,860kcal/h）
標準適室	温暖地	木造 66㎡(40畳)まで　コンクリート　91㎡(55畳)まで
	寒冷地	木造 69㎡(42畳)まで　コンクリート 109㎡(66畳)まで
外形寸法		高さ700㎜　幅830㎜　奥行510㎜（置台を含む）
質量		52㎏
電源電圧及び周波数		単相 100V　50／60Hz
定格消費電力	点火時	72/79W
	燃焼時	86/94W
	最大	95/99W
給排気筒の呼び径		D49
給排気筒の壁貫通部の孔径		φ85㎜
排気温度		260℃以下
電流ヒューズ		管形ヒューズ8A
安全装置		対震自動消火装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置(安全サーモスタット)
その他の装置		排気管抜け検知装置・過電流防止装置
付属品		給排気筒セット(1)、スリーブ(1)、置台(1)、背面カバー上(1)、風量制御板60Hz用(1)、締付バンド(1)、フィルタガイド板上(1)、フィルタガイド板下(1)、絶縁テープ(1)、ゴム製送油管締付バンド(2)、取扱説明書(1)、型紙(1)

備　考　標準適室は、社団法人・日本ガス石油機器工業会の算定基準によります。

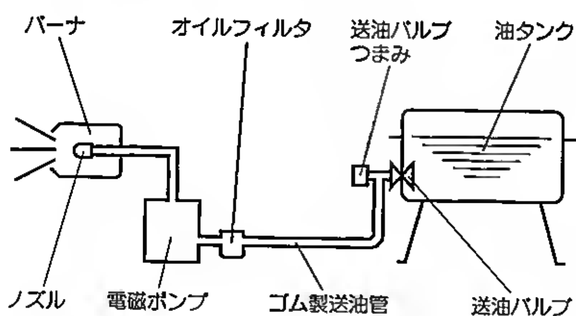
外形寸法図



配線図



送油経路図



14.アフターサービス

保証について

●このコロナ密閉式石油ストーブには保証書がついています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになり、大切に保管してください。
●保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
■変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
■誤った使用方法による故障や事故。

修理を依頼されるとき

●本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」(23・24ページ参照)の項に従って調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口(裏表紙参照)にご連絡ください。
●保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
• お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間
• 石油ストーブの補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

15.据付け

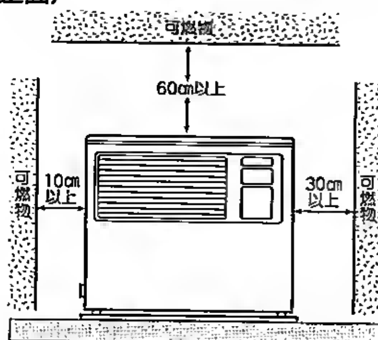
据付け場所の選定

●据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「安全のために必ずお守りください(特に注意していただきたいこと)」をお読みになり、販売店または据付け業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、29ページを参照してください。

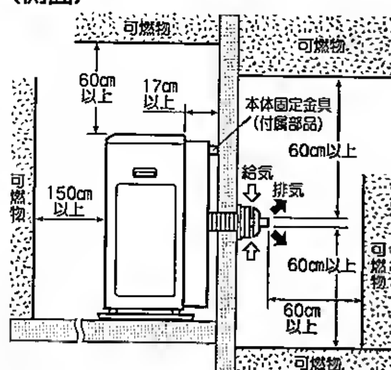
標準据付け例

ストーブの据付けは下図を満足させる位置に取り付けてください。

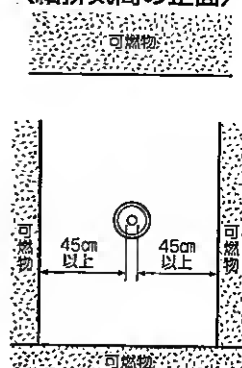
〈正面〉



〈側面〉



〈給排気筒の正面〉

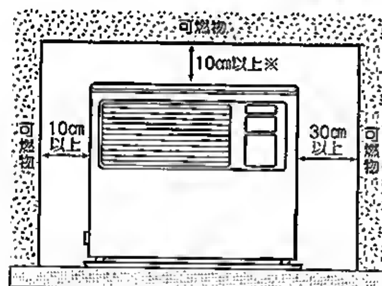


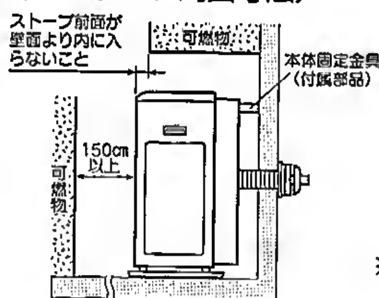
●側方障害物は、両側にあってもよいが給排気筒と障害物、可燃物との距離は45cm以上とってください。

●前方に塀や建物がある場合は給排気筒先端と前方障害物との距離は60cm以上離し、かつ上方および両側方に気流を阻止する障害物がないようにしてください。

●給排気筒下面は地面から60cm以上離すようにしてください。なお積雪地域では、給排気筒先端が雪でふさがれるおそれのない高さを確保してください。

〈マントルピースなどに設置する場合のストーブ周囲寸法〉





※印の寸法は、防火性能評定委員会により近接認定されたものです。

- 点検・手入れのためストーブ右の離隔距離は、30cm以上にしてください。
- 熱に弱いカーペットや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。
- 木造の建物で壁にメタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りをしてある場所に給排気筒を通すときは、それらの金属部に接しないように電気的絶縁をしてください。
- 壁に穴をあける場合、壁の内部にある電気配線・ガス・水道の配管にあたらない場所を選んでください。

据付け後の確認

●据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください(特に注意していただきたいこと)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

試運転

試運転は、販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

運転準備 (詳しくは8～11ページ参照)

1.油タンクに灯油（JIS 1号灯油）を給油してください。

2.油タンクの送油バルブを開き、送油経路内の空気抜きをしてください。

3.ストーブ側面の水平器で、水平に設置されていることを確認してください。

4.ストーブの置台の上や送油管の接続部に、油だまりや油漏れがないか確かめてください。

5.運転スイッチが〔停止〕になっているか確認してください。

●運転スイッチを〔運転〕のまま電源プラグをコンセントに差し込むと、E - ⇄ EE が表示されます。

6.電源プラグをコンセントに差し込んでください。

● ⚠注意 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

運　　転 (詳しくは12～16ページ参照)

1.運転スイッチを押してください。

●運転ランプが点灯し、燃焼ランプが点滅します。
●約10秒後に点火し、燃焼ランプが点灯に変わります。
●点火後2～4分後に対流用送風機がまわり温風が出ます。

• 初めてお使いになるときは、耐熱塗料が焼けて煙とにおいが出ることがあります。窓をあけて部屋の換気をしてください。

2.運転スイッチを押しもどしてください。

●運転ランプ、燃焼ランプが消灯し、消火します。同時に温度表示から時刻表示に切り変わります。
●本体内部が冷却するまで送風を継続し、5～7分後に停止します。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。
名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864−0440(代表)	FAX(011)863−3154
	札幌サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0875	TEL(011)879−2121(代表)	FAX(011)871−2000
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48−6070(代表)	FAX(0138)48−6080
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8262	TEL(0166)37−2330(代表)	FAX(0166)37−2338
	帯広営業所	帯広市西12条南1丁目30-1	〒080-0022	TEL(0155)35−7518(代表)	FAX(0155)35−7510
	釧路営業所	釧路市中園町2-5	〒085-0052	TEL(0154)24−4191(代表)	FAX(0154)24−0451
	北見営業所	北見市美芳町9-1-30	〒090-0064	TEL(0157)26−2103(代表)	FAX(0157)26−2107
東北地区	青森支店	青森市古館1-12-38	〒030-0946	TEL(017)742−8255(代表)	FAX(017)742−8275
	青森サービスセンター	青森市古館1-12-38	〒030-0946	TEL(017)743−2971(代表)	FAX(017)743−6741
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864−5671(代表)	FAX(018)864−8468
	コロナセントラルサービス(株)秋田	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864−5219(代表)	FAX(018)864−5760
	八戸営業所	八戸市売市字売市55	〒031-0073	TEL(0178)24−5289(代表)	FAX(0178)45−4290
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28−3910(代表)	FAX(0172)28−0191
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622−4791(代表)	FAX(019)622−5244
	コロナセントラルサービス(株)盛岡	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604−0281(代表)	FAX(019)604−0283
	水沢営業所	水沢市水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22−4155(代表)	FAX(0197)22−4452
	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235−3181(代表)	FAX(022)236−8810
	宮城コロナメンテナンス(株)	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783−1791(代表)	FAX(022)783−1792
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938−2240(代表)	FAX(024)938−3021
	コロナメンテナンス福島(株)	郡山市安積町荒井字掬子東30-1	〒963-0111	TEL(024)947−4654(代表)	FAX(024)946−7651
	(有)コロナメンテナンス会津	会津若松市門田町大字徳久字竹之元855-10	〒965-0843	TEL(0242)26−3211(代表)	FAX(0242)26−3216
	山形営業所	山形市南原町3-7-11	〒990-2413	TEL(023)642−3255(代表)	FAX(023)642−3254
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31−0571(代表)	FAX(0234)31−0581
関東地区	東京支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927−1151(代表)	FAX(03)3911−1121
	東京サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911−1131(代表)	FAX(03)3927−1130
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241−2172(代表)	FAX(029)241−4268
	千葉営業所	千葉市花見川区幕張本郷4-7-2	〒262-0033	TEL(043)274−1121(代表)	FAX(043)274−1135
	大宮営業所	さいたま市吉野町1-332-6	〒330-0031	TEL(048)651−1231(代表)	FAX(048)651−6370
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(0298)39−5325(代表)	FAX(0298)36−1913
	横浜支店	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852−4008(代表)	FAX(045)852−5540
	横浜サービスセンター	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852−4802(代表)	FAX(045)852−5540
	立川営業所	立川市西砂町1-66-13	〒190-0034	TEL(042)531−6771(代表)	FAX(042)531−0496
	コロナテクニカルサービス(株)	立川市西砂町1-66-13	〒190-0034	TEL(042)531−4271(代表)	FAX(042)531−6776
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)288−1587(代表)	FAX(055)268−1569
	高崎支店	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361−4808(代表)	FAX(027)381−9139
	高崎サービスセンター	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)363−8955(代表)	FAX(027)364−3228
	宇都宮営業所	宇都宮市東簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632−5105(代表)	FAX(028)632−5205
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38−6571(代表)	FAX(0276)38−5508
信越・北陸地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32−2126(代表)	FAX(0256)35−8519
	三条サービスセンター	三条市東新保3-38	〒955-0863	TEL(0256)32−2129(代表)	FAX(0256)32−2137
	新潟東営業所	新潟市江南1-8-41	〒850-0855	TEL(025)286−9131(代表)	FAX(025)286−3313
	新潟サービスセンター	新潟市近江180-1	〒950-0971	TEL(025)281−4251(代表)	FAX(025)281−4252
	長野営業所	長野市大豆島5,312	〒381-0022	TEL(026)221−5111(代表)	FAX(026)221−0039
	上越営業所	新井市上百々宮田100	〒944-0001	TEL(0255)73−7511(代表)	FAX(0255)72−5696
	松本営業所	松本市笹賀5824-2	〒399-0033	TEL(0263)26−0051(代表)	FAX(0263)25−9961
	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260−0567(代表)	FAX(076)260−0775
	金沢サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260−0038(代表)	FAX(076)260−0738
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444−0567(代表)	FAX(076)444−0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23−0567(代表)	FAX(0776)23−0580
東海地区	名古屋支店	名古屋市港区入場1-1903	〒455-0803	TEL(052)383−3330(代表)	FAX(052)381−1266
	名古屋サービスセンター	名古屋市港区入場1-1901	〒455-0803	TEL(052)384−5670(代表)	FAX(052)381−5244
	静岡営業所	静岡市高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238−0005(代表)	FAX(054)238−0006
	岐阜営業所	岐阜市蔵前3-2-17	〒500-8233	TEL(058)247−3661(代表)	FAX(058)247−5036
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234−8471(代表)	FAX(059)234−8472
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(0559)68−6210(代表)	FAX(0559)68−6212
	岡崎営業所	岡崎市大平町沢添49	〒444-0007	TEL(0564)25−0275(代表)	FAX(0564)25−1726
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380−2111(代表)	FAX(06)6386−7262
	大阪サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386−5670(代表)	FAX(06)6386−5588
	高松営業所	高松市上福岡町2015-3	〒760-0077	TEL(087)835−1711(代表)	FAX(087)835−0160
	京都営業所	京都市伏見区竹田中島町14-1	〒612-8415	TEL(075)643−2002(代表)	FAX(075)643−0870
	姫路営業所	姫路市飾磨区構4-33	〒672-8071	TEL(0792)34−2911(代表)	FAX(0792)34−6109
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24−6239(代表)	FAX(0749)26−2116
	福知山営業所	福知山市和久市町308	〒620-0062	TEL(0773)22−0827(代表)	FAX(0773)23−7592
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871−3310(代表)	FAX(082)871−3306
	広島サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871−3315(代表)	FAX(082)871−3306
	岡山営業所	岡山市辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243−7751(代表)	FAX(086)243−7191
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33−8157(代表)	FAX(0859)23−0709
	徳山営業所	徳山市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22−5567(代表)	FAX(0834)22−5589
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474−5771(代表)	FAX(092)474−5775
	九州コロナサービス(株)	鳥栖市酒井西町638-10	〒841-0042	TEL(0942)81−3915	FAX(0942)81−3918
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0828	TEL(093)592−8611(代表)	FAX(093)592−8666
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281−1321(代表)	FAX(099)281−1252
	熊本営業所	熊本市尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367−7361(代表)	FAX(096)369−6323
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882−7710	FAX(095)882−7767
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29−1680	FAX(0985)25−0685
	大[illegible]	[illegible]	〒870-0107	TEL(097)523−5161(代表)	FAX(097)523−5162
沖縄地区	沖縄営業所	浦添市大平392-1	〒901-2113	TEL(098)879−0677(代表)	FAX(098)875−1674

91111002

本社・工場	三条市東新保7-7	〒955-8510	TEL(0256)32−2111(大代表)
柏崎工場	柏崎市宝町2-58	〒945-0817	TEL(0257)23−5175(代表)
長岡工場	長岡市下条町倉ノ浦1069	〒940-1146	TEL(0258)22−2121(代表)

103WA0285-0 1 2 3 dsp 14

株式会社コロナ